



2021年2月5日

各位

会 社 名 株式会社リベルタ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 透  
 (コード番号:4935 東証JASDAQ)  
 問合せ先 取締役 管理部部长 二田 俊作  
 (TEL. 03-5489-7661)

### 連結業績予想の修正及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2021年2月5日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年12月17日に開示した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想ならびに未定としておりました1株当たり配当予想につきまして修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2020年12月期 連結業績予想の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,900	263	222	116	44.60
今回修正予想 (B)	5,110	290	260	153	58.37
増 減 額 (B-A)	210	26	37	37	
増 減 率 ( % )	4.3	9.8	16.6	31.9	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	4,203	134	118	72	31.13

#### 2. 業績予想修正の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い減収を見込んでおりました機能衣料ジャンルのバイカー向け電熱ウェア「HeatMaster」が好調に推移したこと、同ジャンル新商品の湿度コントロールマスク「OPTIMASK」がバラエティストアにて好調に推移したこと、また2019年に発売したトイレタリージャンル新商品の油污れ用洗剤「シュワッチ」が大手ドラッグストアにて拡販が進んだこと、その他ジャンルの育毛ケア商品「M-1 育毛ローション」がテレビショッピングにてヒットしたこと、Watchジャンルの「Luminox」においては秋口に投入された新商品が好調に推移したことなどにより計画を上回り、5,110百万円となる見込

みです。

利益につきましては、売上高の伸長要因により営業利益は290百万円、為替差損の減少により経常利益は260百万円、今回の配当予想により税金費用負担が減少したことから親会社株主に帰属する当期純利益は153百万円となる見込みです。

### 3. 配当予想の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2020年12月17日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今 回 修 正 予 想	—	21.40 (普通配当 16.05) (記念配当 5.35)	21.40 (普通配当 16.05) (記念配当 5.35)
当 期 実 績	—	—	—
前 期 実 績 (2019年12月期)	—	3.00	3.00

### 4. 配当予想修正の理由

当社は、株主資本利益率の向上に努め、配当性向を勘案しつつ安定的な配当の実施に努めるという考えのもと、長期に亘る安定的な経営基盤の確保をめざし、業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施することを基本方針としております。

上記方針に基づいた上、2020年12月期の業績見通し、財務状況等を総合的に勘案し、日頃の株主の皆様のご支援に報いるため、未定とさせていただいておりました配当予想を1株当たり21.40円とさせていただきます。内訳といたしましては、今期連結業績予想に対する連結配当性向(注1)30%にあたる16.05円を普通配当といたします。また、東京証券取引所JASDAQ市場への上場記念といたしまして、今期連結業績予想に対する連結配当性向10%にあたる5.35円を記念配当といたします。

この結果、連結配当性向は40%となる予定です。

なお、この剰余金の配当は、2021年3月に開催予定の第25回定時株主総会に付議する予定です。

(注1)連結配当性向＝配当支払総額／親会社株主に帰属する当期純利益

(注2)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上